

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	国際学院埼玉短期大学
設置者名	学校法人国際学院

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学共通科目	学部等共通科目	専門科目	合計		
本科	幼児保育学科	夜・通信			9	9	7	
	健康栄養学科 食物栄養専攻	夜・通信			9	9	7	
	健康栄養学科 調理製菓専攻	夜・通信			10	10	7	
専攻科	健康栄養専攻	夜・通信			8	8	7	
	幼児保育専攻	夜・通信			10	10	7	
(備考)								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

シラバス（冊子）及びホームページ https://sc.kgef.ac.jp/wordpress/wp-content/uploads/2019/07/20190708-5d229b2dc4e50.pdf

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	国際学院埼玉短期大学
設置者名	学校法人国際学院

理事（役員）名簿の公表方法

ホームページ https://www.kgef.ac.jp/pdf/H30_financial/h30_1_1.pdf (1-3 ページ参照)

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	元・県副知事	2017.4.1～ 2020.3.31	地域連携担当
非常勤	元・新聞社社長	2017.4.1～ 2020.3.31	広報担当
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名（学部等名）	国際学院埼玉短期大学
設置者名	学校法人国際学院

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画の作成・公表に係る取組の概要) 各科目担当が「シラバス作成要領（本学指定）」に基づき、</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ディプロマ・ポリシーに基づいて重点的に身につける学修成果 2. 授業の概要 3. 授業の到達目標 4. 成績評価の方法 5. テキスト 6. 参考図書 7. 授業時間外学習 8. 課題に対するフィードバック等 9. 各回の授業計画（テーマ、学習内容、オムニバスの場合は当該回担当教員名など） <p>を記載した授業計画を作成し、学科長、教務部長等が内容を確認した上で、冊子、学生向けWEBサイト及びホームページに掲載し、年度初めに公表している。</p>	
<p>授業計画の公表方法</p>	<p>シラバス（冊子）及びホームページ https://sc.kgef.ac.jp/about/public/syllabus/</p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) シラバスに掲載している成績評価の方法に基づき、筆記試験、口頭試験、観察記録、実技試験、レポート、小テスト等を全体で100点となるように総合評価し、60点以上を合格として単位認定している。また、卒業研究を卒業必修科目として位置付け、2年間の学修成果の評価を厳格かつ適正に評価している。さらに、開講期ごとに、教授会において科目ごとの単位認定の状況を確認するとともに、成績調査制度を導入し、学生が自身の評価に疑問がある場合は申し出ることにより、成績評価の妥当性について調査・確認を行い、必要に応じて修正するなど、成績評価の透明性を高めている。</p>	

<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要) 試験等による学修の評価は、S、A、B、C、Dで表し、S、A、B、Cを合格とし単位を認定する。</p> <p>グレードポイントの設定においては、Sを4点、Aを3点、Bを2点、Cを1点、D及び受験資格喪失を0点で評価し、GPAは、「履修科目の単位数」×「グレードポイント」の合計を「履修登録科目の単位数の合計」で除して算出している。また、GPA制度並びにGPA算出方法をシラバス(冊子)に記載し公表している。さらに、上記により算出したGPAの分布状況を学科会議、教務委員会、教授会等に報告・確認し、学生指導に活用している。</p>	
<p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p>	<p>シラバス(冊子)及びホームページに掲載し公表している。 https://sc.kgef.ac.jp/wordpress/wp-content/uploads/2019/09/20190903-5d6e0dcfcd9f8.pdf</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) 「卒業認定・学位授与の方針」(学科)、「課程修了認定の方針」(専攻科)を学科・専攻課程及び専攻科ごとに定め公表している。</p> <p>「卒業認定・学位授与の方針」(学科)、「課程修了認定の方針」(専攻科)は3つの方針の一つとしてホームページ、シラバス及び学生便覧に掲載し、公表している。</p> <p>また、「卒業認定・学位授与の方針」(学科)、「課程修了認定の方針」(専攻科)に基づき、卒業・修了の判定を教授会で行っている。</p>	
<p>卒業の認定に関する方針の公表方法</p>	<p>ホームページ、シラバス(冊子)及び学生便覧に掲載し公表している。 https://sc.kgef.ac.jp/about/guide/diploma_policy/</p>

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	国際学院埼玉短期大学
設置者名	学校法人国際学院

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	ホームページ https://www.kgef.ac.jp/pdf/H30_financial/h30_2.pdf (12ページの貸借対照表を参照)
収支計算書又は損益計算書	ホームページ https://www.kgef.ac.jp/pdf/H30_financial/h30_2.pdf (1～11ページの資金収支計算書、活動区分資金収支計算書、事業活動収支計算書を参照)
財産目録	ホームページ https://www.kgef.ac.jp/pdf/H30_financial/h30_2.pdf (13ページの財産目録を参照)
事業報告書	ホームページ https://www.kgef.ac.jp/financial_index.html (平成30年度事業報告書を参照)
監事による監査報告(書)	ホームページ(監査報告書を参照) https://www.kgef.ac.jp/pdf/H30_financial/h30_3.pdf

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称:平成31年度事業計画 対象年度:平成31年度)
公表方法:ホームページ https://www.kgef.ac.jp/pdf/H30_financial/2019_plan.pdf
中長期計画(名称:KGプラントの確立-経営基盤安定強化計画- 対象年度:2016~2020)
公表方法:ホームページ https://www.kgef.ac.jp/financial_index.html

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法:ホームページに平成24年度以降の自己点検・評価報告書を掲載している。 https://sc.kgef.ac.jp/information/evaluation/
--

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法:ホームページに平成24年度適格認定の受審結果を掲載している。 https://sc.kgef.ac.jp/information/evaluation/
--

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名	幼児保育学科
教育研究上の目的（公表方法：学則に定め、ホームページで公表）	https://sc.kgef.ac.jp/wordpress/wp-content/uploads/2019/06/20190624-5d1027b6de3d9.pdf
（概要）	幼児保育者としての一般的教養と専門的な知識と技能を教授研究し、その応用的能力を伸ばすと共に人格の完成に努め、社会に有為な幼児保育者を養成し、実際生活に対応し得る社会人を育成すること。
卒業の認定に関する方針（公表方法：ホームページ等で公表）	https://sc.kgef.ac.jp/about/guide/diploma_policy/
（概要）	建学の精神に基づき、豊かな教養と、教育・保育に関する専門的知識・技能、問題解決能力、規範意識・倫理観、社会的責任、学びに向かう力、それらを活用・適用して課題を解決する能力を修得したと認められる者に卒業を認定し、短期大学士（教育学）を授与する。
教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：ホームページ等で公表）	https://sc.kgef.ac.jp/about/guide/curriculum_policy/
（概要）	建学の精神に基づき、豊かな教養と、教育・保育に関する専門的知識・技能、問題解決能力、規範意識・倫理観、社会的責任、学びに向かう力、それらを活用・適用して課題を解決する能力を修得するために、教養科目と専門科目を連携させ、カリキュラムを体系的に編成・実施・評価する。
入学者の受入れに関する方針（公表方法：ホームページ・募集要項等で公表）	https://sc.kgef.ac.jp/about/guide/admission_policy/
（概要）	建学の精神に基づき、豊かな教養と、教育・保育に関する専門的知識・技能、問題解決能力、規範意識・倫理観、社会的責任、学びに向かう力、それらを活用・適用して課題を解決する能力を修得し、保育士・幼稚園教諭・保育教諭を目指す人を求める。

学部等名	健康栄養学科
教育研究上の目的（公表方法：学則に定め、ホームページで公表）	https://sc.kgef.ac.jp/wordpress/wp-content/uploads/2019/06/20190624-5d1027b6de3d9.pdf
（概要）	専門職業人としての一般的教養と専門的な知識と技能を教授研究し、知識基盤社会に求められている社会人基礎力を身につけた短期大学士（栄養学／調理学）である栄養士・調理師を養成し、実際生活に対応し得る社会人を育成すること。
卒業の認定に関する方針（公表方法：ホームページ等で公表）	https://sc.kgef.ac.jp/about/guide/diploma_policy/
（概要）	建学の精神に基づき、豊かな教養と、栄養（食物栄養専攻）並びに調理（調理製菓専攻）に関する専門的知識・技能、問題解決能力、規範意識・倫理観、社会的責任、学びに向かう力、それらを活用・適用して課題を解決する能力を修得したと認められる者

に卒業を認定し、短期大学士（栄養学）・短期大学士（調理学）を授与する。
教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：ホームページ等で公表） https://sc.kgef.ac.jp/about/guide/curriculum_policy/
（概要） 建学の精神に基づき、豊かな教養と、栄養（食物栄養専攻）並びに調理（調理製菓専攻）に関する専門的知識・技能、問題解決能力、規範意識・倫理観、社会的責任、学びに向かう力、それらを活用・適用して課題を解決する能力を修得するために、教養科目と専門科目を連携させ、カリキュラムを体系的に編成・実施・評価する。
入学者の受入れに関する方針（公表方法：ホームページ・募集要項等で公表） https://sc.kgef.ac.jp/about/guide/admission_policy/
（概要） 建学の精神に基づき、豊かな教養と、栄養（食物栄養専攻）並びに調理（調理製菓専攻）に関する専門的知識・技能、問題解決能力、規範意識・倫理観、社会的責任、学びに向かう力、それらを活用・適用して課題を解決する能力を修得し、栄養士・管理栄養士・栄養教諭（食物栄養専攻）、並びに調理師・専門調理師（調理製菓専攻）を目指す人を求める。

学部等名 専攻科
教育研究上の目的（公表方法：学則に定め、ホームページで公表） https://sc.kgef.ac.jp/wordpress/wp-content/uploads/2019/06/20190624-5d1027b6de3d9.pdf
（概要） 幼児保育専攻：短期大学で修得した知識・技能に加えて、保育の基本に係る専門教科、指導、援助に関する技能、広い視野から研究を深めるための関連科目を学修する。更に、専門科目に関する知識や技能の質の向上を目指し、教育の基礎理論を中心に保育内容の研究を深めるとともに、その指導法などの実践的な技能の修得を図り、より高度な子育て支援や教育相談にも対応できる資質の高い幼児保育者を育成すること。 健康栄養専攻：短期大学で修得した知識に加えて、健康や病気に係わるライフステージ栄養学、臨床栄養学、臨床心理学等を学習し、栄養教育・管理指導の場において活躍できる、より高度な専門的知識と技術を身につけた資質の高い栄養士を育成すること。
卒業の認定に関する方針（公表方法：ホームページ等で公表） https://sc.kgef.ac.jp/about/guide/diploma_policy/
（概要） 建学の精神に基づき、短期大学で取得した免許・資格（幼稚園教諭二種、保育士、栄養士）や修得した成果を基盤にして、独立行政法人大学改革支援・学位授与機構の学位授与制度を利用し、「学士」の学位取得に向け、各専攻に示された幅広く深い教養と、高度な専門的知識・技能、問題解決能力、規範意識・倫理観、社会的責任、学びに向かう力、それらを活用・適用して課題を解決する能力を修得した者に専攻科の課程を修了したことを認定する。
教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：ホームページ等で公表） https://sc.kgef.ac.jp/about/guide/curriculum_policy/
（概要） 建学の精神に基づき、短期大学で取得した免許・資格（幼稚園教諭二種、保育士、栄養士）や修得した成果を基盤にして、専門性を深めるため、各専攻に示された幅広く深い教養と、高度な専門的知識・技能、問題解決能力、規範意識・倫理観、社会的責任、学びに向かう力、それらを活用・適用して課題を解決する能力を修得するために、

<p>専門力と人間力を高めるカリキュラムを体系的に編成・実施・評価する。</p>
<p>入学者の受入れに関する方針（公表方法：ホームページ・募集要項等で公表） https://sc.kgef.ac.jp/about/guide/admission_policy/</p>
<p>（概要） 建学の精神「誠実・研鑽・慈愛・信頼・和睦」を柱に、「礼をつくし、場を清め、時を守る」という教育方針を掲げ、人格形成に重点をおいた教育に力を注いでいる。このような教育理念に基づき専攻科では、短期大学等で修得した成果を基盤にして、専門性を深めるため、各専攻に示された、幅広く深い教養と、高度な専門的知識・技能、問題解決能力、規範意識・倫理観、社会的責任、学びに向かう力、それらを活用・適用して課題を解決する能力を修得し、主体的・協働的に学びを深め、社会の有益な人材となることを目指す人を求める。</p>

②教育研究上の基本組織に関すること

<p>公表方法：ホームページで公表している。 https://sc.kgef.ac.jp/wordpress/wp-content/uploads/2018/09/20180903-5b8ce035274e1.pdf</p>

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）								
学部等名	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計	設置基準上の 必要専任教員数
—	3人	—					3人	—
幼児保育学科	—	5人	1人	5人	0人	0人	11人	11人
健康栄養学科	—	8人	0人	3人	3人	2人	16人	8人
b. 教員数（兼務者）								
学長・副学長			学長・副学長以外の教員			計		
0人			42人			42人		
各教員の有する学位及び業績 (教員データベース等)			公表方法：ホームページに掲載 https://sc.kgef.ac.jp/about/public/degree/					
c. FD（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）								
多様な教育支援の充実及び教育改革を推進すること等を目的にFD等を実施している。平成30年度は、「教育の質保証～自己点検・評価活動の本質～」や「建学の精神に基づいた人材の育成」、「教育評価と教育改革の推進」「障害学生の理解と支援について」等をテーマにFDを23回開催した。出席率は、平均で80.3%であった。								

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
幼児保育学科	180人	123人	68.3%	360人	249人	69.2%	0人	0人
健康栄養学科	120人	70人	58.3%	240人	135人	56.3%	0人	0人
合計	300人	193人	64.3%	600人	384人	64.0%	0人	0人
(備考)								

b. 卒業者数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
幼児保育学科	101人 (100%)	0人 (0%)	99人 (98.0%)	2人 (2.0%)
健康栄養学科	82人 (100%)	4人 (4.9%)	69人 (84.1%)	9人 (11.0%)
合計	183人 (100%)	4人 (2.2%)	168人 (91.8%)	11人 (6.0%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項)				
幼児保育学科：埼玉県市町村保育士、埼玉県内幼稚園・保育所 等				
健康栄養学科：宮家、(株)LEOC、(株)東洋食品、IMSグループ、(株)帝国ホテル、日本ホテル(株)、(株)阪急阪神ホテルズ 等				
(備考)				

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業者数	留年者数	中途退学者数	その他
幼児保育学科	104人 (100%)	99人 (95.2%)	1人 (1.0%)	4人 (3.8%)	0人 (0%)
健康栄養学科	101人 (100%)	81人 (80.2%)	1人 (1.0%)	19人 (18.8%)	0人 (0%)
合計	205人 (100%)	180人 (87.8%)	2人 (1.0%)	23人 (11.2%)	0人 (00%)
(備考) 中途退学の主な理由：進路変更					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

(概要) 学則（教育課程表）に記した授業科目、授業の方法等に基づき、各科目担当者が「シラバス作成要領（本学指定）」に照らして、授業計画を作成している。
--

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

(概要) 建学の精神に基づき、豊かな教養と、専門的知識・技能、問題解決能力、規範意識・倫理観、社会的責任、学びに向かう力、それらを活用・適用して課題を解決する能力を修得したと認められる者に卒業を認定している。				
学部名	学科名	卒業に必要な 単位数	G P A制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
	幼児保育学科	62 単位	㊦・無	50 単位
	健康栄養学科	62 単位	㊦・無	46 単位
		単位	有・無	単位
		単位	有・無	単位
G P Aの活用状況（任意記載事項）		公表方法： 本年度後期から運用を開始する。		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法： 閲覧で対応		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：ホームページで公表している。 https://sc.kgef.ac.jp/wordpress/wp-content/uploads/2018/09/20180903-5b8ce0b80abbe.pdf
--

⑧授業料、入学料その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考 (任意記載事項)
	幼児保育学科	680,000 円	300,000 円	330,000 円	実験実習料、施設費
	健康栄養学科	680,000 円	300,000 円	390,000 円	実験実習料、施設費
	専攻科幼児保育専攻	650,000 円	300,000 円	230,000 円	施設費
	専攻科健康栄養専攻	710,000 円	300,000 円	230,000 円	施設費

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組
(概要) 授業を受ける学生の質問・相談等に対しては、可能な限り対応することとしているが、学生の便宜を更に図るため、各教員があらかじめ対応可能な時間帯（オフィスアワー）を定め、シラバスに記載し公表している。
b. 進路選択に係る支援に関する取組
(概要) 就職活動（就活）のための求人情報の提供をはじめとして、①担任との面談②学生支援センターでの相談③求人検索システムや就活 Web サイトの活用を行っており、専門職へ就職のため、①進路希望調査②各種模擬試験③進路講演会④キャリア講習会を実施している。
c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組
(概要) 学生が健全で充実した学生生活を送るために医務室を設置し、看護師を原則、常駐している。また、校医およびカウンセラーに相談できる環境を整えている。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法： ホームページで公表している。 https://sc.kgef.ac.jp/about/public/
